

The page features two large, thin green arcs that sweep across the top and sides. A horizontal green band is positioned across the middle, containing a silhouette of a mountain range. The text is placed to the right of this band.

第3章

環境・市民生活

第2次茅野市環境基本計画

計画期間 2018年度～2027年度 【担当 環境課】

計画策定の趣旨・目的・位置付け

- 「茅野市環境にやさしいまちづくり条例」の規定に基づき、環境の保全及び美しい景観の形成等による快適な生活環境の創造について定めた基本理念の実現を目指して策定するもので、本市の環境の保全等を総合的かつ計画的に推進することを目的とします。
- 「茅野市環境にやさしいまちづくり条例」第7条に基づく、環境の保全等に関する施策を総合的かつ計画的に推進するための計画とします。
- 「茅野市減CO₂計画（茅野市地球温暖化対策実行計画）」を本計画に包括し、一本化を図ります。

現状と課題

第1次計画から本市を取り巻く環境は地球温暖化や生物多様性などの地球環境問題をはじめ、東日本大震災、エネルギー問題、人口減少など社会情勢が大きく変化しています。こうした情勢に対応しつつ、環境面から持続可能なまちづくりを図っていく必要があります。

計画の基本理念・目指す将来像

「ハヶ岳の豊かな自然と人が調和する環境先進都市」

市民、事業者、滞在者、市の各主体が連携しながら行動し、茅野市の優れた自然環境や生活環境、快適環境、地球環境を次世代へ引き継ぐことを目指します。

施策① 自然の恵みを大切に受け継ぐまち – 良好な自然環境の確保-

多様な動植物が生息・生育する環境や、良質な里山、農地、水資源を保全し、人と自然が共生する健全な地域生態系がもたらす自然の恵みを将来にわたって享受することができるまちを目指します。

■目標指標

指標名	単位	現況値 (2016)	中間目標 (2022)	最終目標 (2027)
茅野市の環境に満足している市民の割合（市民アンケート）	%	52.2	56	60
外来生物駆除作業の年間活動延べ人数	人	145	160	175
里山づくりイベント参加人数	人	195	205	215

施策の柱 1-(1) 自然と人が共生する地域生態系の保全

貴重な生物、多様な生物が生息・生育できる優れた自然や身近な自然を保全します。

■主要事務事業

- 環境保全対策事業
- 生物多様性の確保事業

施策の柱 1-(2) 健全な自然環境に寄与する森林、農地の保全

森林や農地を保護・育成し、緑が持つ自然環境保全機能を保全し、活用します。

■主要事務事業

- 里山づくり支援事業

施策の柱 1-(3) 豊富で良質な水資源の保全

健全な水循環の促進、豊かな水資源の保全と、その有効活用を図ります。

■主要事務事業

- 水資源・水環境保全対策事業

施策② 安全で人にやさしいまち –安全な生活環境の確保–

培ってきた知恵と最先端の技術により、人の生活や活動が環境へ及ぼす影響を低減し、安全で安心して暮らすことができるまちを目指します。

■目標指標

指標名	単位	現況値 (2016)	中間目標 (2022)	最終目標 (2027)
生活苦情処理件数	件	176	改善	改善
市内主要河川におけるBOD環境基準達成度	%	100	100	100
合併処理浄化槽法定検査受検率	%	22.3	45	70

施策の柱 2-(1) 健康的で安全な生活環境の確保

公害防止対策の強化や新たな環境問題への対応を進めます。

■主要事務事業

- 公害の未然防止及び苦情対応事務
- 犬・猫等飼育動物関係事務
- 水質検査事業
- 合併処理浄化槽整備事業

施策③ うるおいとやすらぎのある快適なまち –快適環境の確保–

うるおいや、やすらぎをもたらす身近な緑や水辺、景観を保全するとともに、縄文時代から続く風格ある文化を伝承するまちを目指します。

施策の柱 3-(1) やすらぎのある身近な自然空間の保全と良好な景観形成

身近な緑と水辺の保全や、ふるさとの景観の保全等により快適な環境を確保します。

■主要事務事業

- 茅野市緑の基本計画、茅野市景観計画等により実施します。

施策④ 環境への負荷が少ないまち –循環型社会の構築–

人の生活や活動に伴って発生する廃棄物を抑制するとともに、安全で快適な環境への負荷の少ない持続可能な循環型のまちを目指します。

■目標指標

指標名	単位	現況値 (2016)	中間目標 (2022)	最終目標 (2027)
一人一日当たりごみ排出量	g	943.7	885.7	※ごみ処理基本計画改定時に設定
可燃ごみ量(家庭系・事業系の総量)	t/年	17,194.6	13,116.1	※ごみ処理基本計画改定時に設定
茅野環境館来館者数	人	10,915	11,000	11,100

施策の柱 4-(1) 循環型まちづくりの推進

環境に配慮した製品の使用やリサイクル・リユースを推進するとともに、家庭や事業所などから排出される廃棄物の削減や適正な処理を行い、循環型のまちづくりを進めます。一般廃棄物(ごみ)処理基本計画との整合・連携を図り取組を進めます。

■主要事務事業

一般廃棄物(ごみ)処理基本計画で具体的な事業を実施します。

- し尿処理事業

施策⑤ 地球環境にやさしいまち –低炭素型まちづくり– 【茅野市減CO₂計画】

省エネルギーを推進するとともに再生可能エネルギーの利活用を進め、地域から地球温暖化の防止に貢献するまちを目指します。

■目標指標

指標名	単位	現況値	中間目標 (2022)	最終目標 (2027)
茅野市全域の温室効果ガス排出量減少割合	%	532千tCO ₂ (2013)	△13.9% (2013年度比)	△21.5% (2013年度比)
環境マネジメントシステム補助件数(累計)	件	49 (2016)	55	60
市公共施設のエネルギー使用量(CO ₂ 排出量換算)	tCO ₂	9,740 (2016)	9,263	8,808

施策の柱 5-(1) 地球温暖化対策(緩和策・適応策)の推進

省エネルギーや再生可能エネルギー利用を促進する等により、温室効果ガスの排出を抑制し、地球温暖化を緩和する取組を進めるとともに、地球温暖化への適応策についても検討します。

■主要事務事業

- 地球温暖化対策事業
- 省エネルギー行動の実践事業
- 低炭素交通の構築事業
- 環境マネジメントシステム推進事業

施策⑥ 協働で環境づくりに取り組むまち –連携・参加と環境学習–

市民・事業者・滞在者・市の各主体が参加し、協働で環境保全に取り組み、豊かな自然と人が調和するまちを目指します。

■目標指標

指標名	単位	現況値 (2016)	中間目標 (2022)	最終目標 (2027)
環境問題に関心のある市民の割合(市民アンケート)	%	86.5	88.0	90.0
環境美化活動参加延べ人数	人	15,011	17,500	20,000
環境情報の発信回数	回	67	72回以上	72回以上

施策の柱 6-(1) 連携・協働による取組の推進

複雑で多様な環境問題を解決するために、市民・事業者・滞在者・市が一体となった取組を推進します。

■主要事務事業

- 環境美化推進事業
- 環境自治会活動支援事業

施策の柱 6-(2) 環境学習の推進

すべての人が地球の環境と地域の環境に関心を持ち、環境を保全するための知識を高め、それぞれの役割を認識することができる仕組みをつくります。

■主要事務事業

- 環境保全対策事業
- 環境美化推進事業

一般廃棄物（ごみ）処理基本計画

計画期間 2015年度～2029年度 【担当 美サイクルセンター】

計画策定の趣旨・目的・位置付け

ごみの発生・排出抑制から再資源化、収集・運搬、中間処理、最終処分に至るごみ処理について全てを包括するものであり、将来にわたりごみ処理を計画的かつ適正に行うための根幹となる計画とします。

なお、本計画は、茅野市・富士見町・原村の3市町村を計画区域としています。

現状と課題

茅野市の一人一日当たりごみ排出量は、平成24年度以降1,000g/人・日を上回り、全国平均や長野県平均より多い状況にあります。

要因としては観光地から排出される事業系ごみが含まれていることが想定されますが、家庭系ごみ、事業系ごみ共に一層の発生抑制・排出抑制・資源化等を進める必要があります。

また、最終処分場の残余容量は逼迫しており、新たな最終処分場の整備が求められています。

計画の基本理念・目指す将来像

郷土の自然と共生を目指した循環型社会の形成

本地域は北東部は八ヶ岳中信高原国定公園に指定され、白樺湖や蓼科湖、蓼科高原などに代表される八ヶ岳山麓特有の景観を形成しており、本地域の象徴的な自然環境特性を有していることから、本計画では循環型社会の形成により本地域の自然環境との調和を目指します。

施策① 住民・事業者・行政の役割の明確化と実行

基本理念と目標を達成するため、住民・事業者・行政の役割を明確化し、有効に実行し、発生・排出抑制を積極的に推進します。

■目標指標

指標名	単位	現況値 (2017)	中間目標 (2020)	最終目標 (2027)
一人一日当たりに家庭から排出するごみ量	g/人/日	569.9	525.4	※ごみ処理基本計画改定時に設定
事業所から排出するごみ量	t/年	7,055.0	5,875.7	※ごみ処理基本計画改定時に設定
可燃ごみ量（家庭系・事業系の総量）	t/年	16,939.1	14,786.5	※ごみ処理基本計画改定時に設定

■主要事務事業

- 環境美化推進事業
- 可燃ごみ焼却事業

施策② 発生抑制（Reduce）、再使用（Reuse）、再利用（Recycle）の推進

3R（発生抑制、再使用、再利用）に関する情報の共有と相互協力体制の確立、3Rに必要なシステムを構築し、住民・事業者・行政が連携することで、3Rを積極的に推進します。

■目標指標

指標名	単位	現況値 (2017)	中間目標 (2020)	最終目標 (2027)
リサイクル率	%	13.8	30.0以上	※ごみ処理基本計画改定時に設定

■主要事務事業

- 資源物収集処理事業
- 茅野環境館管理運営事業

施策③ 環境に配慮した効率的なごみ処理体系の構築

3市町村及び一部事務組合が主体の5つのごみ処理体制を一元化し、環境保全に配慮した効率的なごみ処理体系を構築します。

■目標指標

指標名	単位	現況値 (2017)	中間目標 (2020)	最終目標 (2027)
最終処分率	%	5.5	8.0以下	※ごみ処理基本計画改定時に設定

■主要事務事業

- 可燃ごみ焼却事業（諏訪南ごみ処理特別会計負担金）

施策④ 新ごみ処理施設の建設

3市町村のごみ処理を一元化し経費の節減と効率化を図り、地域住民への利便性・サービス性を提供します。

■主要事務事業

- 広域ごみ処理施設整備事業